

自動温度測定機器(高温用カードロガー)の使用法



1.表示確認

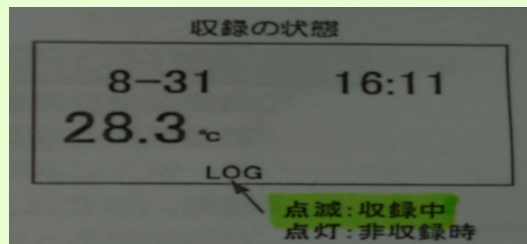
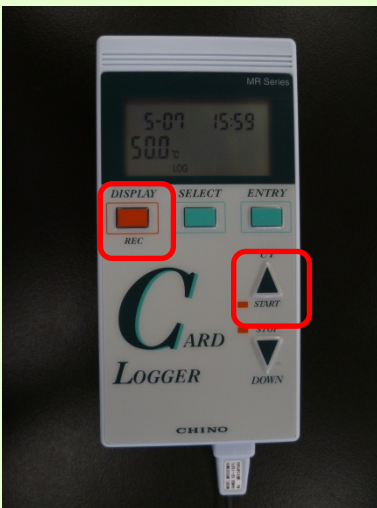
[DISPLAY]を押して液晶画面に文字を表示させてください。

※コードの抜き差しをしないでください。

2.収録開始

[DISPLAY]と[▲]を同時に長押ししてください。
10分後から、自動的に収録を開始します。

※収録中は、画面表示の[LOG]が点滅になります。
収録中は50℃以上の表示になることがあります。



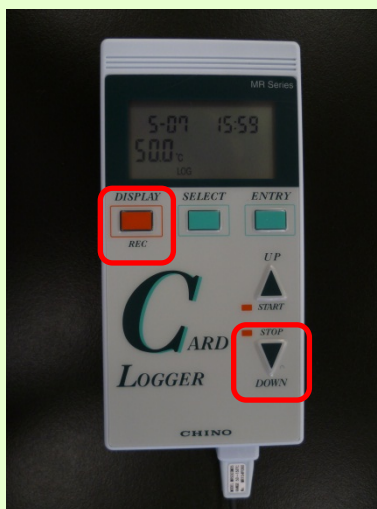
※自動的に画面が消えますが、問題ありません。

3.収録終了

[DISPLAY]を押して液晶画面に文字を表示させたのち、

[DISPLAY]を押したまま[▼]を長押ししてください。

※収録が終了すると、画面表示の[LOG]が
点滅から点灯に変わります。



消毒保管庫(食器)の測定の場合:食器の温度を測るものではありません。

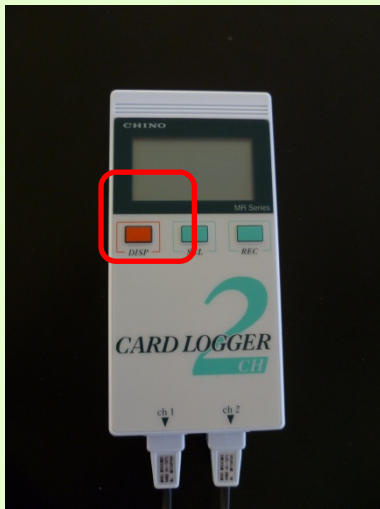
庫内温度を測定する機器です。食器の間にセンサーを挟まないでください。

食器かごなどに引っかけてご使用ください。

収録終了後は、本体及びコードを給食会に返却してください。

給食会にて集積データをグラフ化して、グラフをFAXでお送りします。

自動温度測定機器(高温用カードロガー)2チャンネルの使用法



1.表示確認

[DISP]を押して液晶画面に文字を表示させてください。

※コードの抜き差しをしないでください。

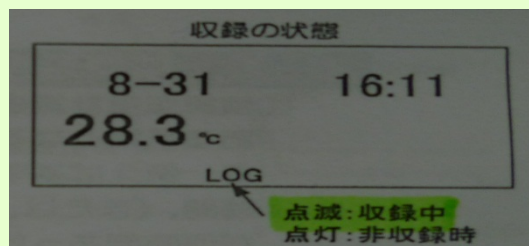


2.収録開始

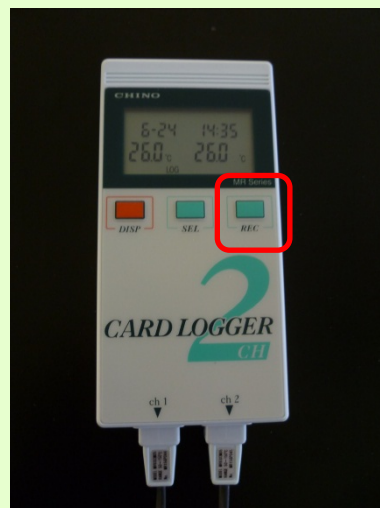
[REC]を2秒以上押してください。

10分後から、自動的に収録を開始します。

※収録中は、画面表示の[LOG]が点滅になります。
収録中は50℃以上の表示になることがあります。



※自動的に画面が消えますが、問題ありません。



3.収録終了

[DISP]を押して液晶画面に文字を表示させたのち、

[REC]を2秒以上押してください。

※収録が終了すると、画面表示の[LOG]が点滅から点灯に変わります。

消毒保管庫(食器)の測定の場合:食器の温度を測るものではありません。
庫内温度を測定する機器です。食器の間にセンサーを挟まないでください。
食器かごなどに引っかけてご使用ください。

※ プラスチック食器の場合:庫内温度が85℃に上昇後30分保持

収録終了後は、本体及びコードを給食会に返却してください。

給食会にて集積データをグラフ化して、グラフをFAXでお送りします。

カードロガーセットの手順

- ①センサーを下記の写真のようにカゴなどにかけてセットをする
- ②保管庫のドアを閉めて(コード挟んでOK)
本体は台車などの上において測定する
- ③センサー部分を食器と食器に挟まない。



※注意

このカードロガーは食器の温度を測るのではなく、
保管庫の庫内の温度を測定する機器です。

自動温度測定機器使用における調査

施設名()

Q1. どの消毒保管庫に使用しましたか。下記から選んで()に番号を入れてください。

- (1) 食器保管庫 →Q2へ [1ch] [2ch]
(2) 食缶保管庫 →Q3へ () ()
(3) 調理器具等保管庫 →Q3へ

Q2. 使用食器の材質は何ですか。下記から選んで○をつけてください。

- (1) PEN樹脂
(2) 強化磁器
(3) ポリプロピレン
(4) メラミン
(5) ABS樹脂
(6) その他()

Q3. 現在の消毒保管庫の設定温度および設定時間について教えてください。

[1ch]

[2ch]

設定温度()℃

設定温度()℃

設定時間()分

設定時間()分

Q4. 今回測定した消毒保管庫の開始時間と終了時間について教えてください。

[1ch]

[2ch]

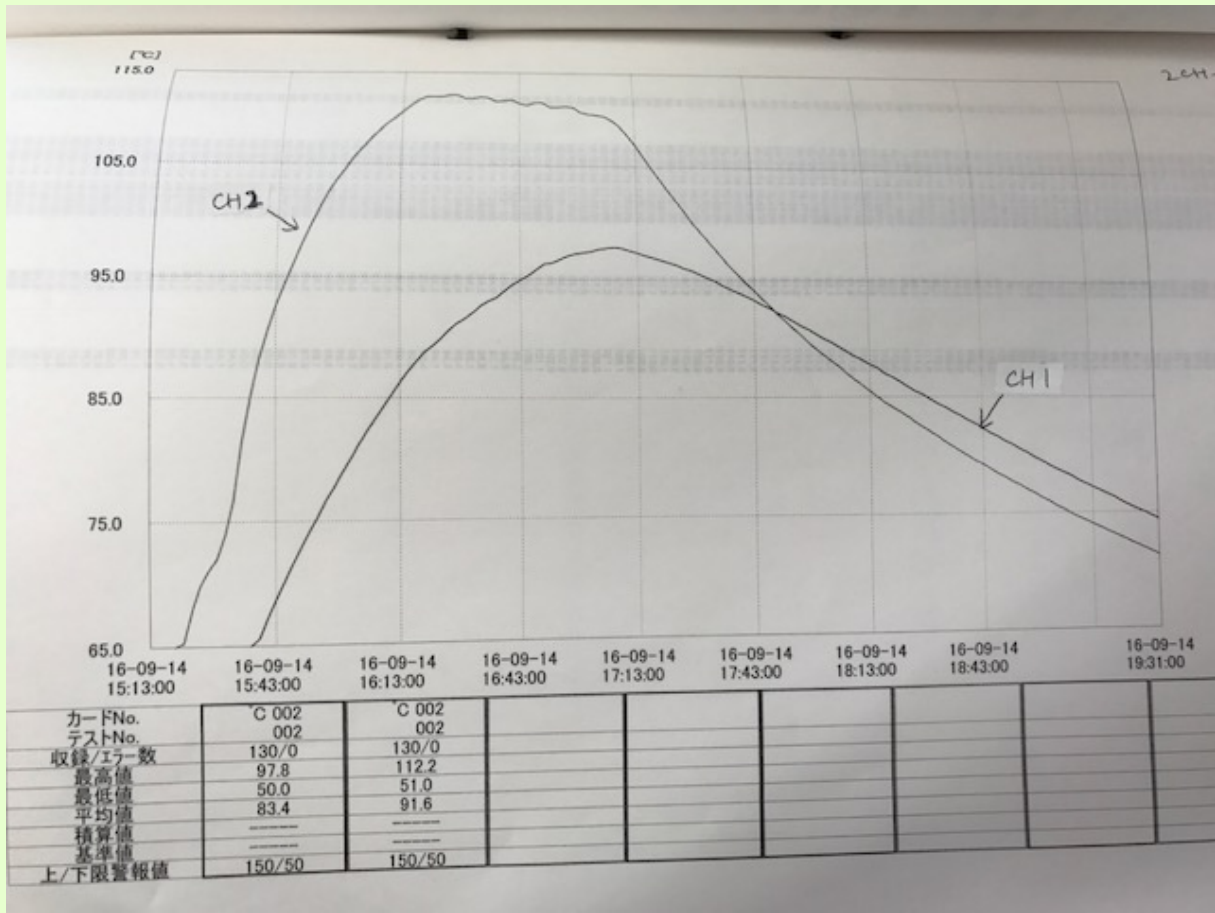
開始時間()

開始時間()

終了時間()

終了時間()

両方とも85°C以上30分維持した例



片方が85°C以下だった場合の例

